

1. 組織名

公益社団法人 中央畜産会 (日本の畜産ネットワーク会員)

2. 提出意見①

該当する交渉分野

物品市場アクセス

意見

日本の畜産は、関連産業も含めて約100万人が従事し、畜産のみならず、食肉処理場、乳業工場等、畜産関連産業は雇用機会の少ない地域の極めて重要な産業になっている。

にもかかわらず、日本の食料は、既に、カロリーベースで60%強、消費量ベースで、肉類は45%、乳製品も54%を海外に依存している。

加えて、天候不順等による凶作、悪性伝染病の発生リスク等による、輸入の困難性も危惧され、畜産物をこれ以上海外に依存することはあまりにリスクが大きすぎる。

このため、雇用の確保、危機管理の上からも、現存の国境輸入措置を維持し、これ以上に日本の畜産が縮小しないよう、衆参両院の農林水産委員会の決議を断固守り抜く必要がある。

※ 同一の交渉分野について、2つ以上意見等を提出される場合は、「提出意見」の行をコピーの上、行を追加願います。

※ 異なる交渉分野について、意見等を提出される場合は、シートを分けて記入・提出願います。